PDF DF

PDF 画像比較ツールマニュアル

Version 1.0

2021年5月24日

改訂履歴

バージョン	年月日	改訂者	目的
1.0	2021/5/24	なべぇる	·新規作成

目次

第	1節	はじめに	. 1
	1.1.	ツールについて	. 1
	1.2.	動作確認	. 1
第	2節	PDF の画像化	. 2
	2.1.	PDF ファイルの選択	. 2
	2.2.	比較	. 3
第	3節	比較条件の変更	4
	3.1.	比較比率の変更	. 4
	3.2.	空ページの挿入	. 4
	3.3.	拡大表示と比較除外領域	. 5
第	4節	表示内容の変更	.6
		表示内容の変更	
第	5節	比較対象の除外領域の指定	. 7
	5.1.	比較対象の除外領域の指定	. 7
	5.1.	除外領域の命名と微調整	8
	5.2.	除外領域の特定ページの除外	. 9
	5.3.	除外領域の特定ページへの指定 1	10
	5.4.	リストからの操作	10
		リストの保存と読込	

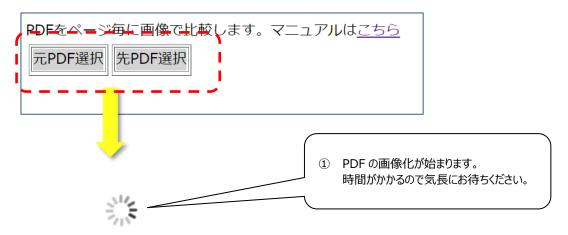
1 第1節 はじめに

2	1.1. ツールについて
3 4 5 6 7 8	本ドキュメントは、このツールで PDF の差分比較を行うための操作手順等を記したものです。 このツールでは、サーバ上でのファイルの保存は行っておりません。 このツールを使用したことによるいかなる直接的損害、間接的損害等の一切の責任を負いません。 このツールへのリンクについては特に申告等なしで構いません。 ただし、ツールの公開を予告なく停止することがある点をご了承ください。
9	1.2. 動作確認
10 11 12 13 14	① chrome : バージョン: 90.0.4430.93 ② Edge : バージョン 90.0.818.51

第2節 PDF の画像化

2.1. PDF ファイルの選択

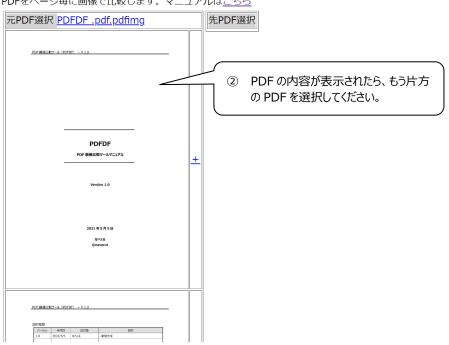
[元 PDF 選択]ボタンを押下して比較元となる PDF、[先 PDF 選択]ボタンを押下して比較先となる PDF を選択します。 どちらから選択しても問題ありません。



PDF画像化中: 3/6



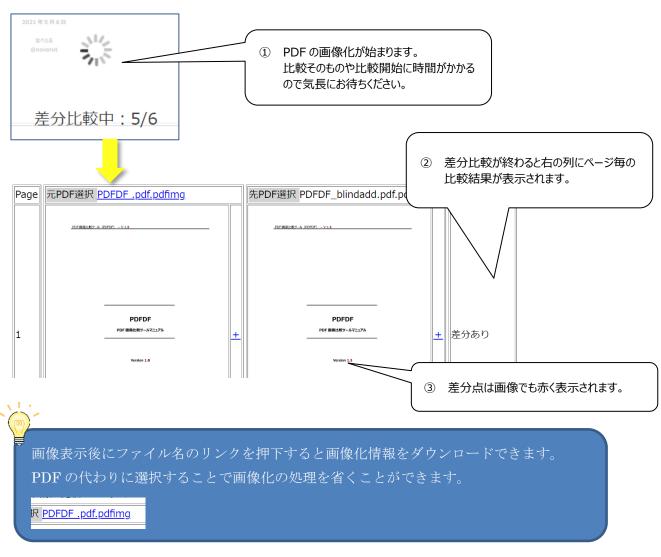
PDFをページ毎に画像で比較します。マニュアルは<u>こちら</u>



2.2. 比較

元 PDF と先 PDF の両方を選択すると自動で比較が開始されます。

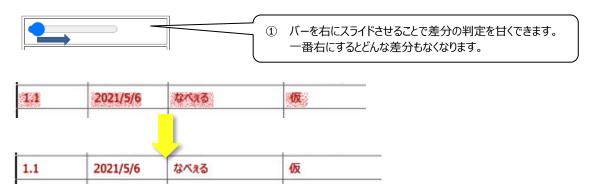
差分の有無が右の列に表示され、画像部分に差分がある部分が赤く表示されます。



第3節 比較条件の変更

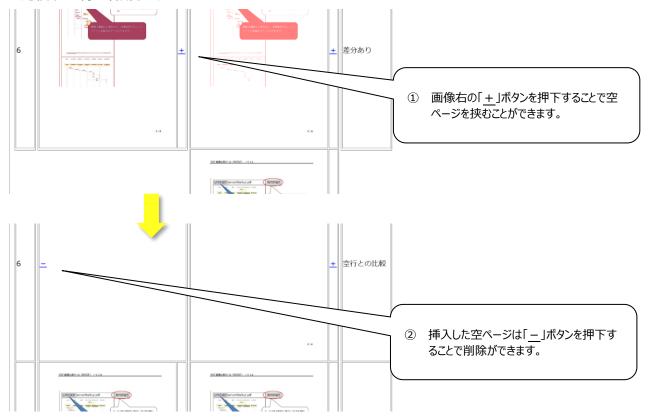
3.1. 比較比率の変更

画像を比較する際に、差分がない部分にも差分ありが判定されてしまう場合があります。差分列の一番上の バーを変更して差分の幅を変更することで改善されることがあります。



3.2. 空ページの挿入

画像右の「<u>+</u>」ボタンを押下してページの挿入をすることができます。ページの挿入などが行われたファイル同士の比較などの際に利用します。



3.3. 拡大表示と比較除外領域

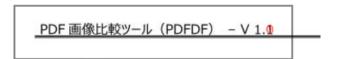
画像をクリックすることで拡大した画像が別ウィンドウに表示されます。



拡大画像上でドラッグ&ドロップをすることで、四角を描くことができます。

この四角で指定された領域は比較対象から除外することができます。

ヘッダやフッタなどのバージョン表記やページ番号など、比較の対象としたくない領域を指定するのに利用します。



比較対象の除外領域の詳細な使い方については後述します。

第4節 表示内容の変更

4.1. 表示内容の変更

右下に表示されている表示コントロールで表示内容の変更ができます。 差分がわかりづらい時に差分だけを表示したり、画像部分だけを表示したりするのに利用します。 また、一覧で差分のあるページのみを表示することができます。

- □ 差分点を非表示
- □ 画像を非表示
- 除外矩形を非表示
- 差分なしを非表示
- ・差分点を非表示・・・・・画像内の差分を表す赤い部分を非表示とすることができます。
- ・画像を非表示・・・・・・・画像内の画像部分を非表示とすることができます。
- ・除外矩形を非表示・・・除外領域を指定している場合、その除外領域を非表示にできます。 非表示としていても除外領域の判定は行われます。
- ・差分なしを非表示・・・・「差分なし」が表示されている行を非表示にします。

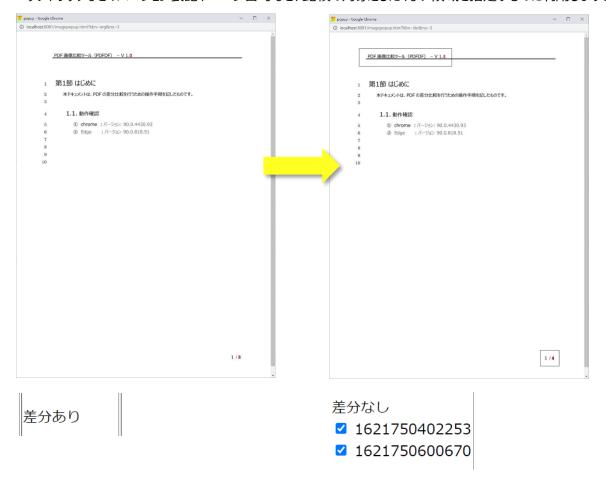
差分なしを非表示以外の設定は、拡大している画面にも反映されます。

第5節 比較対象の除外領域の指定

5.1. 比較対象の除外領域の指定

画像をクリックすることで拡大した画像が別ウィンドウに表示され、そのウィンドウ内でドラッグ&ドロップを行うことで四角を描くことができます。この四角で指定された領域は比較対象から除外することができます。

ヘッダやフッタなどのバージョン表記やページ番号など、比較の対象としたくない領域を指定するのに利用します。



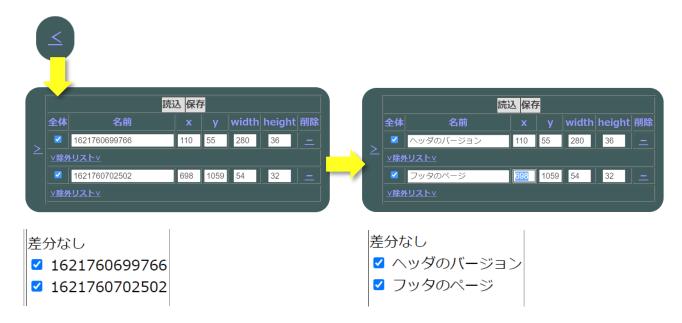
上記例では、除外領域を指定しない場合はヘッダやフッタにより差分ありとなってしまっていますが、バージョン部分やページ部分を指定することによってページ内そのものには差分がないことが確認できています。

5.1. 除外領域の命名と微調整

除外領域を指定すると、差分の列に領域に対応したチェックボックスと番号が表示されます。番号だけではわかりづらいため、この番号を変更することができます。

右上にある「く」をクリックすることで、除外領域の設定を表示することができます。

ここに指定した除外領域が一覧されているので、「名前」のところを変更してください。差分列にも反映されます。



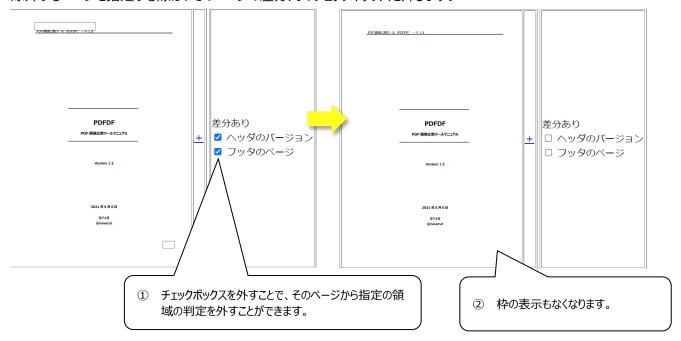
名前の右側の x,y,width,height の変更により四角の大きさの微調整を行うことが可能です。

一番右の「一」を押下することで四角の指定を削除することができます。

5.2. 除外領域の特定ページの除外

除外領域はデフォルトで全ページに適応されますが、表紙には反映したくない等、特定のページを除外領域から外すことが可能です。

除外するページを指定する際は、そのページの差分列のチェックボックスを外します。



5.3. 除外領域の特定ページへの指定

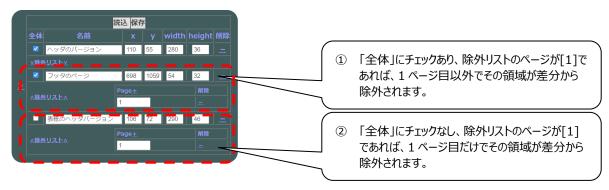
特定ページの除外とは逆に特定ページにのみ除外領域を指定したい場合は、いったん全ページ指定で四角を作成し、「全体」から外してから反映したいページのチェックを付けます。

この操作により、全体の反映を外してそのページのみに除外領域を設定することができます。



5.4. リストからの操作

個別のページの指定は、「除外リスト」からも指定可能です。スクロールさせずに直接ページを指定することができます。「∨除外リスト∨」を押下することで、一覧を表示することができます。



5.5. リストの保存と読込

設定を行った除外領域は保存や読込が可能です。[保存]ボタンを押下することで設定を保存することができます。[読込]ボタンを押下して保存したファイルを読み込むことで設定を復元することができます。

